

の京都

リレー講座

Heritage Of Modernization In Kyoto

近代化遺産

あ ら た な 京 都 の 発 見

2021年

8月28日[土]

Lecture 01 | 09:00~10:30

「美術の教育／教育の美術
— 展覧会に寄せて —」

講師 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館・館長
並木誠士

Lecture 02 | 10:45~12:15

「京都の近代」

講師 | 京都大学人文科学研究所・教授
高木博志

2021年

9月4日[土]

Lecture 03 | 09:00~10:30

「近代京都の陶芸①」

講師 | 立命館大学文学部・教授
木立雅朗

Lecture 04 | 10:45~12:15

「近代京都の陶芸②」

講師 | 京都女子大学家政学部・准教授
前崎信也

2021年

9月11日[土]

Lecture 05 | 09:00~10:30

「近代京都の漆芸」

講師 | 京都国立博物館学芸部教育室・室長
永島明子

Lecture 06 | 10:45~12:15

「近代京都の絵画」

講師 | 京都市立芸術大学美術学部・教授
田島達也

リレー講座

京都の近代化遺産

あらたな京都の発見

京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、2021年9月27日(月)～11月6日(土)の会期で展覧会「美術の教育／教育の美術」を開催いたします。これは、近代京都の美術・デザイン教育を支えた教育現場で使用された教科書類を展示するとともに、修身・歴史・裁縫など美術以外の教科においてヴィジュアルイメージがどのように使用されていたかを検証する展覧会です。

この展覧会の関連企画として、文化庁の助成を受けてリレー講座「京都の近代化遺産－あらたな京都の発見－」(オンライン)を開催するはこびとなりました。京都の近代化遺産とは、明治時代以降、京都のまちで伝統産業の革新やあらたな美術工芸の展開などにより生み出されたさまざまな「もの」です。歴史都市として、社寺や古美術が注目されがちな京都にあって、近代化のなかで生み出されたものは忘れられる傾向にあります。このリレー講座では、展覧会の内容に即して京都の近代化遺産の実態とその価値をひろく一般の方々に理解していただくと考えています。展覧会と相まって京都の近代化遺産の重要性を認識していただく契機となれば幸いです。

講座日程

2021年8月28日(土)

講義01－09:00～10:30

「美術の教育／教育の美術
－展覧会に寄せて」

講師：並木誠士(京都工芸繊維大学美術工芸資料館・館長)

講義02－10:45～12:15

「京都の近代」

講師：高木博志(京大大学人文科学研究所・教授)

2021年9月4日(土)

講義03－09:00～10:30

「近代京都の陶芸①」

講師：木立雅朗(立命館大学文学部・教授)

講義04－10:45～12:15

「近代京都の陶芸②」

講師：前崎信也(京大女子大学家政学部・准教授)

2021年9月11日(土)

講義05－09:00～10:30

「近代京都の漆芸」

講師：永島明子(京都国立博物館学芸部教育室・室長)

講義06－10:45～12:15

「近代京都の絵画」

講師：田島達也(京都市立芸術大学美術学部・教授)

※いずれもZoom Meetingsシステムをつかったオンライン講座となります。ご受講までに各自で利用環境を整えていただきますようお願いいたします。

※各講座は講義60分程度、質疑応答30分程度です。 ※講座は全6回で、通し受講です。

申込方法 (受講料無料)

先着 **30**名 (定員に達し次第、締め切ります)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館のウェブサイトに専用申し込みフォームを設置しています。そちらからお申込み下さい。

≫ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館ウェブサイト
<http://www.museum.kit.ac.jp/>



問い合わせ先

京都工芸繊維大学美術工芸資料館事務室

075-724-7924

(お申込みはウェブサイトからお願いします)